

環境技術

福井プロジェクト

井戸の再生を図り、延命化を進めるVEEma(福井市大瀬町23-107、鈴木和男代表取締役)は、補助金を活用した専用の給水

補給車を導入し、作業効率をなお一層高め、多様化する現場ニーズにこたえている。北陸の井戸本数は融雪用に限っても約1万本

直すケースが結構多いという。そこで同社では、施工前に水中カメラによる調査を徹底することにより、不具合の原因をしっかりと追究。その上で、それぞれの現場に応じた対策を提案し、地下水を再生し揚水量も還元している。

洗浄と同時に目詰まりした砂や汚れも瞬く間に内部に引き込み取り除く点が一大特長。ケーシングやスクリーンの破損が著しい場合に採用する二重ケーシングにも従来工法では叶わなかったが今工法では十分洗浄が可能という優れたもの。



作業効率高めた給水補給車

地下水を再生、延命化へ

VEEma(ヴィーマ) 深井戸洗浄再生システム



鈴木 和男代表

(全国100万本)に上り、埋没の憂き目をみたり、揚水量が減少し始めるなど不具合を生じると、原因究明が不十分なままに周辺で新たに掘り

オリジナル工法で特許も取得した深井戸洗浄再生システム「ユニバーサル洗浄工法」が強みで、99年に福井工業大学の産学連携センターと共同開発した。洗浄ノズルが高速回転(毎分770回)し、超高压水を噴射させながら旋回することで、

このほか井戸新設時に、地下水脈が設計揚水量通りに見込めない場合にも確実な洗浄で還元し、また集水井戸の経年の目詰まりにも超高压水で集水管を洗浄することで地下水が十分に流入することができるシステムだ。

鈴木代表(43)は今後、北陸4県を中心としながら技術提携を呼び掛けて全国に営業エリアを拡大したい意向。社名に掲げる古代文明で一步という意味の「VEEma(ヴィーマ)通り、一步ずつ確実に成長し、新しいことに挑戦し続けた」と意欲的で「みえないところほど美しく」の企業理念に沿い、事業拡大を図り社会貢献していきたい考え。